

式 辞

暖かな春の日差しを受けて校庭の桜が見事な色合いを見せ、花壇の花が咲き誇り、春の訪れを感じさせる今日のよき日に、我孫子市教育委員会教育長、丸 智彦様、

本校PTA会長、小山 美南様をお迎えし、令和4年度入学式を挙げて下さる事はまことに喜ばしく、深く感謝申し上げます。

本来ならば2年生、3年生の先輩と一緒に皆さんの入学をお祝いするところですが、コロナウイルス感染防止対策により、このような形で行わせていただくこととしました。本日、参加することができなかった上級生は、今日の皆様の晴れの姿を想像しながら、歓迎する気持ちを込めて会場づくりや式の準備を行い、皆さんの入学を心待ちにしています。

保護者の皆様にも、制限なくご参加いただき、お子様の入学を盛大にお祝いしたかったのですが、コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小しての挙行としたことは、大変心苦しいのですが、ご理解いただき、ご臨席を賜りましたことに心より感謝いたします。

さて、百七十名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。君たちの入学を在校生及び教職員一同、心より歓迎いたします。

今、担任の先生から呼名され、胸を張って返事をする様子や、真剣なまなざしから、中学校生活への期待と強い決意が伝わってきました。ぜひ、今日の「新鮮な気持ち」をいつまでも忘れないでください。

中学校生活をスタートする皆さんに私から心がけてほしいことを二つお話しします。一つ目は、「志をもち、夢や希望に向かって、粘り強く、挑戦していく」ということです。今、社会は、情報通信技術の急速な発展により、大きく変化しています。人工知能（AI）が社会で本格的に導入されると、人間の仕事の多くはAIに肩代わりされることになり、「今後十年から二十年の間に、約四十七%の仕事が自動化される可能性が高い」と予測されています。これからは、AIで置き換えることのできない、新しいものを生み出す力や主体性、創造性、感性などの「人間的な能力」に磨きをかけることが一層重要になります。

だからこそ、「これからの社会の中でいかに生きるか」を自分自身に問いかけ

「自分はこう生きたい」「こんな人間になりたい」「人の役に立つことをしたい」という決意と目標が持てるように毎日を過ごしてください。中学生時代は知性や感性が豊かになり、夢が根を張っていく貴重な時期です。皆さん一人一人が夢に向かって目を輝かせ、夢中になって取り組む姿を見せてください。

二つ目は、「自分と周りの人を大切にしてほしい」ということです。私たちの周りにはいろいろな人たちがいます。人によって興味を持つことも違うし、得意なことも違います。みんなが自分と同じとは限りません。中学校生活を充実させるには、お互いに良さを認め合い、支え合う関係を築くことが必要です。「不安な時に励まされた」、「悩みを聞いてもらえた」、「自分の行動が仲間に認められた」など、友達や仲間に勇気づけられることで、次の一步を踏み出せるのが人間です。一緒に入学した仲間として、今日からお互いに相手を認め合っていきましょう。そして、「人には優しく、人のためになる行動をする」ことを心がけてください。そうすれば、笑顔が生まれ、それが大きな輪になり、きっと中学校生活が豊かになります。

保護者の皆様、本日は、お子様のご入学、誠におめでとうございませう。本日より大切なお子様をお預かりいたします。今後三年間、お子様の健やかな成長のために、私ども教職員一同、誠心誠意力を尽くしてまいります。今後の学校生活の中で、ご心配な点等がありましたら、丁寧に対応いたしますので、ご相談いただきますようお願いいたします。

結びに、本日、ご臨席の皆様、本校の教育活動に対するご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和四年四月八日

我孫子市立久寺家中学校

校長 鴨下 隆